
 2014 年度 第 3 回 音環境運営委員会 議事録

記録：宮島

- A. 日時 2014 年 11 月 28 日（金）17 時 10 分～19 時 00 分
 B. 場所 建築学会会議室
 C. 出席者 岡野利行（主査）、井上勝夫、岩本 毅、古賀貴士、佐久間哲哉、杉江 聡、中澤真司、永松英夫、平松友孝、平光厚雄、安田洋介、宮島 徹（幹事）
 欠席者 穴井 謙、稲留康一、坂本慎一、佐藤 洋、佐藤史明、田端 淳、濱田幸雄（敬称略）
 D. 提出資料

2014 年度第 3 回音環境運営委員会議事次第

- No. 3-0 2014 年度第 2 回音環境運営委員会議事録（案）
 No. 3-1 2014 年度第 3 回環境工学本委員会議題
 No. 3-2 若手優秀発表（音環境）の審査結果
 No. 3-3 運営委員会・小委員会設置申請書、2015 年度活動計画書

E. 議事記録

1. 前回議事録の確認（資料 No. 3-0）

- 音環境規準検討小委活動報告の 1 行目 AIJES 案→集合住宅の AIJES 案、2 行目 AIJES→AIJES 全般、に修正し承認された。

2. 環境工学本委員会の報告（資料 No. 3-1）

(1) 委員会活動報告について

- 小委活動報告の提出依頼があった。提出方法・スケジュールは改めて連絡する。

(2) 大賞への推薦候補

- 安岡先生、中原先生（名古屋大、設備系より）、榎崎先生（大阪大、空気系より）が推薦され、規定に従って投票が行われた結果、第 1 回投票で中原先生が 16 票を獲得し、大賞へ推薦することとなった。
- 横山先生、吉野先生と、来年度も引き続き共同で安岡先生を推薦することを岡野主査が確認した。吉野先生から、来年度は推薦書の作成段階より協力したいとのお話があった。

(3) 教育賞への推薦候補

- 藤本先生を環境工学本委員会から推薦することに決定した。（他分野からの推薦無し）

(4) 文化賞

- 環境工学本委員会からの推薦は無し。

(5) 委員推薦

- 学会賞論文部会：佐土原先生を推薦。
- 奨励賞選考委員：宗方先生（千葉大）、横山先生（設備系）に打診し了解が得られたら推薦する。
- 災害委員会委員：吉田先生（横浜国大）に打診し了解が得られたら推薦する。

(6) 若手優秀発表について

- 音環境から 4 名を推薦し、承認された。年内に環境工学 HP に掲載、環境工学本委員会委員長の印が押された紙を渡す。

(7) 2015 年度大会について

- ・研究協議会：「アジア蒸暑地域に映る環境工学の未来」．音環境から適当な方がいらっしやれば推薦．
- ・研究懇談会：奨励賞を受賞された方の講演．
- ・大会 OS に提案した「室内音場の先進的な測定・解析・評価」は承認された．
- ・技術部門設計競技は，副賞に 50 万円が贈呈されるので，大学等からふるって応募を．

(8) AIJES 総則の改正

- ・企画刊行運営委員会から改正案が提案された．次回 2 月の本委員会で決定としたい．
- ・音環境から要望した 3 項目のうち，「承認の判断基準と記録」「査読者の選定・承認」はフローに反映されている．「新カテゴリーへの移行手続き」については，移行ではなく新規作成であるとされた．
- ・意見書・要望書への対応が提案され，承認された．回答書の原案を岡野主査が作成する．
- ・本委員会でこの改正案・フロー案に対する意見を募集している．音環境運営委員会からは，著作権の問題が生じる恐れがあるので，新カテゴリーは直営出版物として発行して欲しい，との意見を出す．岡野主査が原案を作りメール審議を行う．

(9) AIJES 関係

- ・5 年を経過した 5 つの AIJES のうち 4 件は改訂見送り，1 件は既に改訂委員会を設置し作業中（「建築物の振動に関する居住性能指針」）．
- ・「サーマルマネキンを用いた室内温熱環境評価法規準」の査読結果が報告され，承認された．

(10) 出版関係

- ・2 件の刊行計画書，7 件の刊行企画書が提出され，承認された．
- ・既刊行物の英文刊行要領が示され，要領に従って行われた経費援助申請が承認された．

(11) 来年度の予算配分

- ・環境工学全体 1,290 万円（今年度 1164 万円）．音環境へは 55.1 万円（-6 千円）．活動状況を重み付けして数値化された結果である．
- ・各小委員会への割り振りは，主査・幹事で作成し提案する．

(12) 来年度の委員会構成

- ・運営委員会を含めすべての小委員会の設置が承認された．
- ・音環境から申請した会員外委嘱 3 件は承認されたが，出来るだけ会員となって頂くようお願いしたい，との要望があった．

(13) 催し物計画・実施報告

- ・ハンズオンセミナーの実施報告，音声伝送シンポの計画は承認された．後者には音シンポジウムの追番（第 74 回）をつけるよう佐藤(洋)委員に伝達する．

(14) 本委員会委員長の選挙

- ・次回本委員会にて選挙が実施される．音環境運営委員会の次期主査候補にも選挙権あり．

3. 審議事項

(1) 来年度の若手優秀発表の実施について

- ・来年度も引き続き実施することを決定した．
- ・審査委員の労力を削減するため評価の段階を 2~3 段階とする，等の改善を図る．
- ・建築学会での位置づけを明確にすることを意見として本委員会に上げる．

(2) 来年度の運営委員会の活動について

・岡野主査より佐久間委員を音環境運営委員会次期主査候補とする提案があり、出席者全員一致で承認された。

4. 各小委員会・WGの活動報告

① 固体音小委員会（稲留主査メール）

- ・11月10日に開催。ボール衝撃源の共同測定結果の分析，FDTD法勉強会を実施。
- ・来年度はAIJES案に基づくボールの測定データ収集，ISO動向調査などに取り組む。

② 集合住宅の遮音性能評価水準検討小委員会（岩本主査）

- ・11月12日に開催。室内騒音の実音源収集，評価方法に関する議論を実施。
- ・来年度は濱田先生に主査を交代する。継続して実音源データの収集や聴感実験の可能性検討，音環境規準検討小委からの依頼により鉄道騒音の評価方法の検討に取り組む。

③ 建築音響測定法小委員会（杉江主査）

- ・10月3日に開催。6月に行ったPUセンサ共同測定結果検討，フランキングに関する実験計画の検討を実施。
- ・来年度は引続きPUセンサを使った測定法の検討，フランキングの現場測定法の検討に取り組む。

④ 室内音響小委員会（佐藤主査メール報告）

- ・10月に小委員会を開催し，各WGは活発に活動していることを確認，次回委員会でOSについて討議予定。
- ・来年度は4WGを中心に活動。小委としての活動方針，WGとの関係性を議論して決めていく。

⑤ 音響数値解析小委員会（坂本主査）

- ・10月25日にハンズオンセミナーを開催した。16名参加があり盛会であったが，5名の急な欠席があった。この種の催し物の場合には会費の事前徴収も考える必要があるのではないか。
- ・来年度は大嶋先生に主査を交代する。ベンチマークHPの充実，境界条件の整備等に取り組む。
- ・開発・普及WGは星先生に主査を交代し，サンプルコード充実や解析ライブラリの整備に取り組む。

⑥ 音環境規準検討小委員会（古賀主査）

- ・集合住宅のAIJESへのフォローと内容を深めるための議論を実施。その結果，運営委員会で承認されたら，(A)ボールとバングの床衝撃音データの対応性の検討を固体音小委員会，(B)鉄道騒音の評価を集合住宅性能水準小委，(C)遮音性能の評価法を建築音響測定法小委，へお願いしたい。（→運営委員会承認）
- ・来年度は集合住宅のAIJESを形にすること，他の建築種別向け指針の整備計画，室内音響関係のAIJES作成へのフォロー等に取り組む。

⑦ 企画・広報WG（中澤主査）

- ・9月30日，11月11日に開催。建築音響関連書籍の分類や改訂要望を明確にするための評価シート作成に関する議論等を行った。
- ・来年度の主査は現時点では未定。活動方針も来季新たに議論し決定する予定。

⑧ 集合住宅の遮音性能規準，設計指針刊行小委

- ・来年2月に本委員会でフローが改訂されたら，最速9月の出版に向けて活動していく。

5. 関連学協会からの情報

(1) 騒音振動研究会

- ・12/9 東大生研，1/19 関西学院大学，2/20 九州大学，3/6 沖縄

(2) 建築音響研究会

- ・12/18 九州工業大学，1/13 関西大学

次回予定：2015年2月17日（火）17時～.

以上